

消

こんにちは！
費生活相談室です 90

消費生活相談室 (☎47-1106 FAX44-7957)

- ① 消火器の取り扱いにかかる注意事項
等に設置しないでください。
- ② 消火器の状態を目で確認し、腐食が進んでいるものは、絶対に使用しないでください。
- ③ 不用になった消火器については、消火剤の放射や解

「老朽化した消火器」
お宅にありませんか？

平成21年9月15日に大阪市東成区で、9月16日には福岡県行橋市において、腐食が進んだ消火器を操作したことにより、消火器が破裂し受傷したと見られる事故が相次いで発生しました。

老朽化した消火器の取り扱いには、十分ご注意ください。

◆腐食した消火器の廃棄について
消火器の製造メーカーを確認の上、直接お問い合わせいただくか、購入先、消火器の販売店、消防用設備の専門店に依頼してください。

※破裂事故に便乗した悪質訪問販売にご注意ください。

◆相談受付時間 毎週月～金曜日
午前9時～午後1時～4時

み

みんなで拓く人権文化 76

地域振興課人権政策室 (☎47-1102)

草の根交流の深化を

政治学者で東京大学大学院教授の姜尚中さんの最近の多方面の活動には頼もしく、うれしくも思います。

5年前、被差別・偏見の半生を振り返った自伝『在日』を出版。今年に著書『悩む力』が上半期新書ノンフィクション部門ベストセラー第1位、続いて『リーダーは半歩前を歩め』も現在3位。今年4月からはNHK『日曜美術館』の司会を担当。DVD付ムック『姜流』も好評で、在日韓国人2世の論客として活躍しておられます。10余年前、彼が東京大学の助教授に着任したとき、東大の同僚が語っています。「日本の国立大学は外国籍、露骨に言えば『在日』に対して排他的だから、彼が来たことは快挙だ」と。姜さんはそのような風潮の中、アカデミズムの世界で堂々と活躍し今や国民

民世論の圧倒的支持を得るようになりました。

ところで、境港市でも10余年前、米子・ソウル間の定期空路が開かれようとしたとき、地元高校が国際理解教育の一環として第2学年全員、3泊4日の韓国研修旅行を企画しました。生徒・保護者に差別的偏見が残っている中で、事前学習を深め生徒・保護者一緒に韓国に出かけ実践交流することで、身をもって克服する事ができました。

今年6月末に就航した境港・東海・ウラジオストクの定期貨客船。10月には3市の「協力計画議事録」が署名されました。3市の教育・文化・スポーツ分野での相互理解を深める共同計画を策定する内容となっています。国家の責任もいろいろありますが、私たち境港市民も一人ひとり草の根交流で責任分担しようではありませんか。

(人権教育推進員 藤原順宣)

今月のサロンコンサート

「金管低音楽器の響き リターンズ」

月とき・ところ 11月27日(金)午後7時30分～8時40分
文化ホール(入場無料)

出演 米子ローラスアンサンブル
ユーフォニアム奏者とテューバ奏者により構成された「米子ローラスアンサンブル」。2006年に引き続き、2回目の出演となります。ポピュラーなクラシックからクリスマスソングまで、幅広い曲目を2つの楽器の重厚で柔らかなサウンドでお届けします。

(問合せ先 生涯学習課文化体育係 ☎47-1093)



図書館に行こう！

(市民図書館 ☎47-1099)

『最終目的地』
ピーター・キャメロン

自殺した作家の伝記を書こうという大学院生の来訪によって、複雑に絡み合う遺族に波紋が...

『椿先生、出番です！』
花形みつる:文
さげさかのりこ:絵

きんかん幼稚園の園児と若い椿先生の楽しくほほえましい15のお話。登場するものすべてがおもしろい。【幼児から】

『わたしのおばあちゃん』
ヴェロニク・ヴァンデン・アペール:文
クロード・K・デュボア:絵

マリーはなんでもできるおばあちゃんが好き。でもね、ある日、なにかがわかってきた。【小学校低学年まで】

今月の新規・寄贈図書

- ◆プリズン・トリック(遠藤武史) ◆成人後見人制度の実務と税理士(小林猪二)
- ◆発達障がいを持つ子の「いとこ」応援計画(阿部利彦) ◆満州引揚哀史(本島進)
- ◆日本の戦争と平和(石破茂) ◆私は夢中で夢を見た(石村由紀子) ◆ひとり介護(岡山徹) ◆世阿弥(今泉淑夫)
- ◆年収200万円からの貯金生活宣言(横山光昭) ほか計370冊

『高学歴大工集団』
秋元久雄

大卒・大学院卒の大工や職人を正社員として採用、自社育成し、すべての工程を内製化するゼネコン社長の論は痛快。

『太平記を読む』
市沢哲

「平家物語」ほど読まれない「太平記」を四つの観点から論じ、建武の中興、中世変革時代のダイナミズムに迫る。

さがいみなと文化財巡り 68

面谷家住宅

花町の面谷家は、市内に白壁の残る数少ない旧家の一つです。面谷酒造の創業は明治四年(一八七二)で、明治維新後の廃藩置県により鳥取県がはじめて設置された年です。

この頃の境港は汽船就航を控えていて、日本海側の重要な港湾としての近代化へ向う大事な時でもありました。

花町棧橋の在った表通りから、東のお台場までの広大な屋敷で、主屋は木造二階建、塗屋造で店部分上部に虫籠窓を有し、明治から現代に至る時を凝縮して重厚感があります。

屋敷内には、主屋から土蔵、旧精米所、離れ居間棟が中庭を取り囲み建ち、洗瓶蔵や瓶詰蔵、煙突の向こうに酒蔵が並び酒蔵



醸造元面谷本店
昭和5年のはがき

の前に醸造場研究室の洋館が立ち、海岸沿いには醤油醸造場が建っていました。

今は旧精米所や醤油醸造場、研究室は取り壊されましたが、酒蔵は平成六年「海とくらしの史料館」となって境港の「海・港」・「民俗」の情報を発信しています。

洗瓶蔵と瓶詰蔵は隠岐の材を使い、今も堅強な木組みを見ることが出来ます。

座敷部分は、仏間と奥座敷の長押や天井廻縁・棹縁が黒漆塗で施され、部屋境には鹿と常夜燈に波間に立つ鳥居と、社殿と回廊が続く厳島神社が彫られた二つの欄間がはめ込まれ、奥の間には床の間、違棚、付書院が付いています。

旧精米所には、四畳半の茶室がしつらえられ、「村上松翁」の軸物や屏風などを置き、茶や郷土の文化を親しむ家風が感じ取れます。

また、二代目の友太郎氏は、境港近代化への基礎となった港湾修築期成会の副会長として奔走し、築港功労者として表彰されました。

近代化の歴史とともに歩んだ面谷家住宅は、そのまま境港の生き証人でもあり、今の姿を永く残したい建物です。

(市史編さん室 小灘浩)

お忘れなく！
国民健康保険税5期
後期高齢者医療保険料5期
の納期限は
11月30日(月)です。
※便利な口座振替をご利用ください。